

第1章 検討会の概要

(1) 外環の計画と経緯の概要

国土交通省と東京都では、東京外かく環状道路(関越道～東名高速間)(以下、外環という)について、計画の初期段階から幅広く意見を聴きながら検討を行ってきました。

構想段階では、平成13年に「計画のたたき台」、平成15年に「方針」を公表し、PI外環沿線協議会等様々な場を活用して、幅広く意見を聴きながら、その必要性等の検討を行ってきました。その検討を踏まえ、平成17年には外環の整備による首都圏の交通渋滞や環境の改善、経済効果、都市再生に果たす役割等から、沿線地域をはじめ首都圏全体として、外環の必要性は高いと判断し、構想段階を終了しました。

次の計画段階では、計画概念図を公表し、外環整備に伴う地域環境への影響や対策について、より詳細な検討を行い、東京都知事が平成19年4月に道路構造を高架方式から地下方式に変更する都市計画変更決定を行い、計画段階を終了しました。また、同年12月の第3回国土開発幹線自動車道建設会議の議を経て、国土交通大臣は建設線の区間、主たる経過地などの基本計画を決定しました。

今後は地域の課題に対してどのような対応が可能か具体的に検討していく必要があります。これまで、今後のPIについて、PI外環沿線会議でのご意見、「外環ジャーナル」や「ホームページ」を活用して住民の方から頂いたご意見、有識者の方々からのご意見など多くのご意見を頂きました。国土交通省と東京都では、これらの意見を参考にしながら、今後事業を実施した際に、外環事業をよりよいものとするため、環境対策やまちづくりなど多岐にわたる地域の課題を地域ごとに整理し、その対応の方針をまとめることとしました。とりまとめにあたり、国土交通省と東京都は沿線区市と協力し、地域のみなさんの意見や考え方を取り入れるため、平成20年1月から、沿線の区市において地域課題検討会を順次開催しているところです。

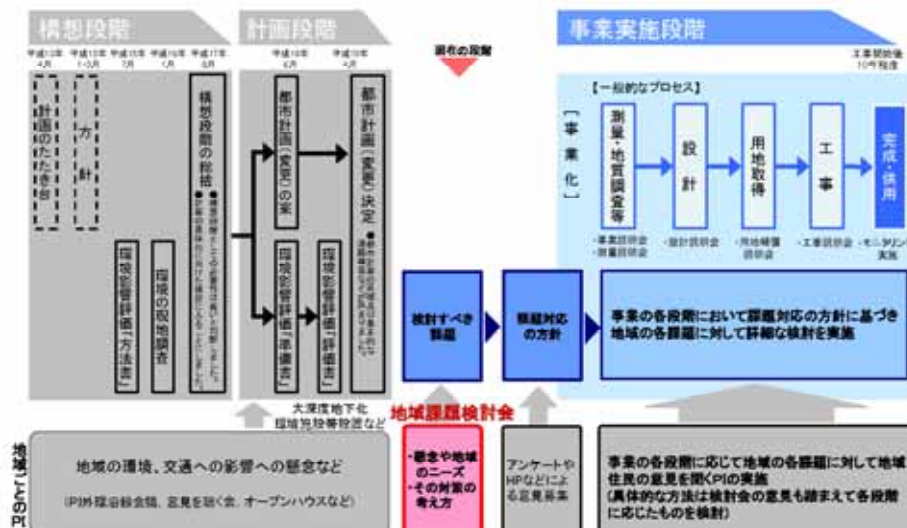


図 検討の経緯と今後の進め方

(2) 検討会の開催経緯

○募集メンバー、募集期間

- ・ 検討会のメンバーは公募により募集しました。
 - ・ 対象地域：吉祥寺東町 1～4 丁目、
吉祥寺南町 1～5 丁目、
吉祥寺本町 1 丁目に在住、在勤、在学の方
- ・ 募集期間：平成 20 年 9 月 1 日～平成 20 年 9 月 16 日
- ・ メンバー登録人数：105 名

○第 1 回 平成 20 年 10 月 5 日(日)13：30～17：30 参加人数 79 名

会場：武蔵野市立第三中学校 体育館

- ・ 第 1 回検討会では、まず東京外かく環状道路の概要や検討会の趣旨などについて説明がありました。次に、武蔵野地域におけるこれまでに頂いている課題について、国土交通省・東京都から説明が行われました。その後、10 のグループに分かれ、グループ検討を行い、生活道路への影響、大気への影響、地下水への影響、外環ノ 2 などについて活発に話し合われました。最後に、グループごとに全体発表が行われ、各グループの検討結果を共有しました。

【検討テーマ】

- ・ 検討会の趣旨、検討の進め方についての確認
- ・ 外環整備及び外環ノ 2 の計画に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること



○第 2 回 平成 20 年 11 月 16 日(日) 13：00～18:00 参加人数 58 名

会場：武蔵野市立第三中学校 体育館

- ・ 第 2 回検討会では、最初にグループで前回議論頂いた内容の確認が行われました。次に、これまでに頂いた疑問に対する主催者からの説明および全体での質疑応答が行われました。その後、全体発表が行われ、各グループで出た意見を発表し参加者で共有しました。各グループからは課題に対する意見とともに、さらなる情報提供や今後の進め方について意見が出されました。最後に、主催者から「どのような形式で行うかは検討させていただきながら、

今後も意見を聞きたい。検討会で頂いた意見等を踏まえて対応方針を取りまとめていきたい。」という趣旨の発言がされました。

【検討テーマ】

- ・ 前回議論頂いた内容の確認、課題に対する意見とともに、さらなる情報提供や今後の進め方について等



○第3回 平成20年12月18日(木) 18:00~23:30 参加人数 40名

会場：吉祥寺南町コミュニティセンター

- ・ 第3回検討会では、これまでに頂いた質問や意見を踏まえ、疑問に関する説明及び質疑応答が行われ、外環道路計画や地下水への影響などのテーマについて参加者と主催者との間で、活発な意見交換が行われました。また、参加者の皆様からは、今後の話し合いの進め方等について意見を頂きました。最後に、主催者から「頂いた意見等を踏まえて対応方針を取りまとめていきたい。検討会は終了するが、今後も地域PIを継続していきたい。」という主旨の発言がありました。

【検討テーマ】

- ・ 外環整備における関心のあるテーマについて、今後、どのように検討を進めてほしいのか等



(3) 検討会の検討プロセス

外環整備に伴う地域の課題の解決に向けた対応の方針を検討するにあたり可能な限り反映します。また、対応の方針とりまとめ後も、各段階ごとに引き続き地域の意見を聴きながら、より具体的な対応について検討します。

なお、検討会の進め方は以下の通りです。

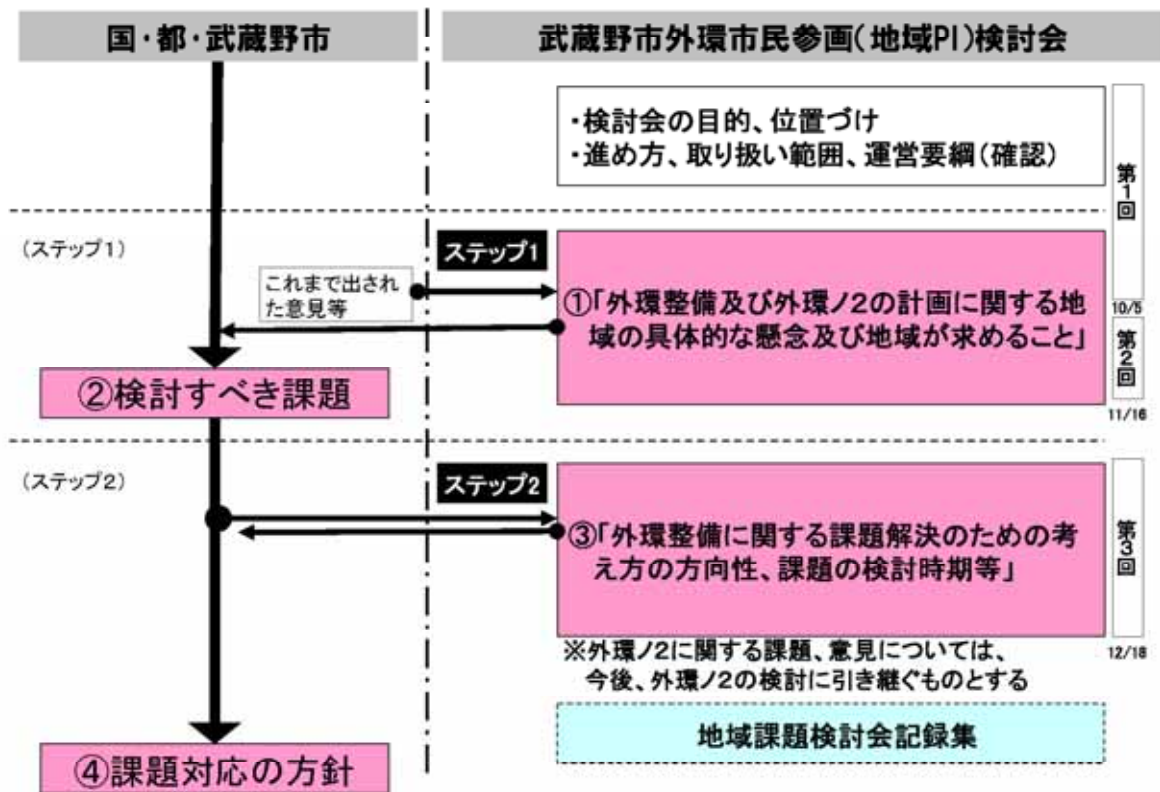


図 武蔵野市外環市民参画（地域PI）検討会の進め方

〈ステップ1〉

①外環整備及び外環ノ2の計画に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること【検討会運営事務局】

- ・ 外環計画が具体化した際、地域にとっての懸念や期待を住民の視点でまとめたものです。

②検討すべき課題【主催者】

- ・ 「外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること」の意見の趣旨を踏まえて、主催者が外環事業やまちづくりを検討する上でそれぞれの立場から現時点で認識した課題を交通、環境などのテーマで分類しまとめたものです。

〈ステップ2〉

③外環整備に関する課題解決のための考え方の方向性、課題の検討時期等【検討会運営事務局】

- ・メンバーが議論した内容及び課題解決のための考え方の方向性を掲載しています。課題解決のための考え方の方向性は、運営事務局が、これまでの議論を踏まえてまとめたものです。

④課題対応の方針【主催者】

- ・検討すべき課題に対する具体的な考え方等を踏まえて、課題に対する対応の方針を示したものです。